

テスト設計コンテスト'15

アピールシート

※ 全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チームID

S150916001

チーム名

TEVASAKIplus

チーム紹介

【動機】 昨年も Shelly として挑戦していたメンバー達だが、まだまだ納得できないことが多く、今年もほぼ同じメンバーで、チーム名を変えて挑戦している。

【チーム名の由来】 テスト観点を導出する際の思考プロセスの研究をしており、月1～2回の打ち合わせを実施している。その研究の名称を、「TEst Viewpoint Abstraction …(ナントカ)」とし、その適当に組み合わせた英単語から「TEVASAKI」を抜き取って、「テバサキ」と呼んでいる。今回のテスト設計コンテストはその研究の一環で取り組んでおり、普段の打ち合わせ参加メンバーに 2 名加えてエントリーしているため、plus をつけ、「TEVASAKIplus」(テバサキプラス)とした。

コンセプト

・テスト設計におけるベースとなる考え方・思考の流れを定義し、それに沿ったテスト設計プロセスを実践する

工夫点

- 1 テスト対象を理解するためのやり方
 - 1.1 テスト対象構造の理解
テスト対象を、SW、HW(インターフェース)、HW(内部)、ユーザ操作、外部環境など全てを含めた構造図を作り、各機能、部品の関連性を把握できるようにした
 - 1.2 テスト対象の振る舞いの理解
シーケンス図により処理などの観点から考えられるテスト対象の振る舞いを把握できるようにした
 - 1.3 利用フロープロセスの理解
ユーザがとる行動の流れを把握し、その行動に対応するテスト対象の動作(SW)を妨げるもの(悪条件)を把握できるようにした。
- 2 テストの設計における取り組み
 - 2.1 評価視点マップの構築
テスト対象を簡易的に表したモデルをつくり、それに対して、一般的に定義されている品質モデル(ISO25010)をマッピングすることで、早い段階大まかなテストスコープを合意できるようにした。
 - 2.2 「機能タイプ-評価視点」モデルの構築
テスト対象の機能、機能群(HW なども含む)を関連性の観点から機能をタイプ分けし、各タイプに対応する評価視点を紐付けた。これにより、機能タイプが明らかになればパターン化して評価視点を対応付けられるようにした。